

ほっ

図書部

8号

令和2(2020)年5月
船橋市西図書館 YA 担当

『群青ロードショー』
半田畔／著 装画／スカイエマ 集英社オレンジ文庫
YF ハホ

いつも集まって映画鑑賞ばかりしている映画好きの女子
高生4人が、卒業の前に自分たちだけの映画を作ろうと
自主製作に乗り出すが…?
キャラの立った4人が繰り広げる心地いいテンポのやりとり
と、終盤にむけて変化していく関係性に、爽快でまぶしい
青春が感じられます。



新刊紹介

今回の新刊はこちら!
気になる本は
あったかな?



『銀河鉄道の星』

宮沢賢治／原作 後藤正文／編
ミシマ社 YF ミケ

宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』や『よだかの星』を、“アジカン”
の後藤正文が現代風な文章にリミックスした作品。これまで
宮沢賢治の作品を読んだことがなかった私がこの本を手
取ったのは、後藤正文の名が目にとまったから。本との出
会いは様々なのだと感じました。読んだことがある人にも、
まだ読んだことがない人にも、ぜひ読んでほしい1冊です。

『ボランティアをやりたい!』
さだまさし・風に立つライオン基金／編
岩波書店 Y369 フ

「ボランティアしたいんだけど、どうしたらいいのかな?」と考えて
いる皆さんに贈る、高校生の活動発表記録です。全国の高
校生の皆さんが日頃から続けている“ささやかで偉大な活動”
を応援する「高校生ボランティア・アワード」。2019年に参加
した皆さんの発表を見て、こんなに様々な活動があるんだな
〜と驚くことしきり。誰でも誰かの力になれる!あなたも一歩
踏み出してみませんか。



【特集】映像化原作・ノベライズ本

今回の特集ページでは、映像化された本や、映画やテレビのシナリオを小説化したノベライズ本などを紹介します。見てから読むも、読んでから見るもよし。映像を文章にして読んでみると、また違った感じ方ができるかもしれませんよ。

映像化原作

『旅猫レポート』有川浩／著 講談社 YF アヒ

主人公・悟は、ある事情から愛猫のナナを手放すことになり、新しい飼い主を探すためナナとともに旅に出る。ナナ目線のセリフからは、つかず離れず、だけど悟への愛情が溢れていて、猫らしい距離感が感じられて面白い。最後には、泣けるけど心温まるラストが待っています。2018年に公開した映画では、悟役に福士蒼汰さん、ナナの声を高畑充希さんが担当しています。



『青の炎』貴志祐介／著 KADOKAWA／角川文庫 YF キユ

嵐・二宮和也さん主演で2003年に映画化。17歳の少年・秀一が、家族を守るためにある男の殺人を決意し、完全犯罪を企てる。映画では、若かりし二ノの演技が拝める本作ですが、ストーリーはかなりヘビーで、とても考えさせられるものになっています。二ノはどう演じるのかな・・・と想像しながら読み進めるのも楽しいかもしれませんね。

『君の臍臓をたべたい』住野よる／著 双葉社 YF スヨ

浜辺美波さん、北村匠海さんのW主演で2018年に映画化。刊行直後から反響を呼んだこの原作小説は、図書館でも何百人もの人が予約待ちをする、大人気の一冊でした。タイトルがとても印象的ですが、タイトルの本当の意味がわかった時、感動せずにはいられない・・・涙なしでは終われない作品です。今なら待たずに借りられるので、ぜひ一度手にとってみてね。



『沈黙する教室 1956年東ドイツー自由のために国境を越えた高校生たちの真実の物語ー』ディートリッヒ・ガルスカ／著 大川珠季／訳 アルファベータブックス Y234 ち

『僕たちは希望という名の列車に乗った』というタイトルで2019年にドイツで映画化。反革命勢力の一員と見なされ退学処分になった東ドイツの高校生が、国境を越えて自由を手に入れようと奮闘するノンフィクション作品です。異国の地で、みなさんと同じぐらいの年齢の人たちが、想像もつかない大変な経験をしていました。当時、彼らがどんな気持ちでいたのか・・・知りたくありませんか？

<次号予告> 4月～6月の特集展示



「ある日、森のなか」



森って静か・さわやか・清々しい…。それとも、怖い？

ノベライズ本

『小説 ひるね姫 ～知らないワタシの物語～』

神山健治／著 KADOKAWA／角川文庫 YF カケ

昼寝が得意な女子高生の森川ココネが、突然警察によって連行されてしまった父親を助けに行くが、その道のは夢とリアルをまたいだ不思議な旅に――。現実世界と夢の世界が交差し、リンクするところは見ものです。映像はもちろんですが、想像力がある人にとっては、むしろ映像のないノベライズ本の方がワクワクするかも？映画では、女優の高畑充希さんが主人公の声をつとめています。



『小説 心が叫びたがってるんだ。』超平和バスターズ／原作 豊田美加／著 小学館 YF トミ

2015年公開の同名アニメ映画のノベライズ本。幼い頃、何気なく口にした言葉をきっかけに家族がバラバラになってしまったヒロイン・成瀬順は、“玉子の妖精”によって喋るとお腹が痛くなる呪いをかけられてしまう。そんな順が、友人たちとの交流の中で呪いを解いていく感動の青春ストーリー。映画では、意識的にたくさん^{せじやく}の名曲を取り入れて音楽とともに楽しめるようになっていますが、小説は静寂の中で物語に集中できるので、また違った楽しみ方ができそうですね。



『未来のミライ』

細田守／著 KADOKAWA／角川スニーカー文庫 YF ホマ

『サマーウォーズ』『バケモノの子』など、数多くの名作を生んだ細田守監督による2018年公開の同名アニメ映画の原作小説。生まれたばかりの妹に両親の愛情を奪われ、戸惑うくんちゃんですが、未来からやってきた妹・ミライちゃんと出会い、時をこえた冒険に旅立つ物語。文章がラフで読みやすいので、サクサク読めちゃいます。細田監督らしいあったかい内容になっていて、ほっこりした気持ちになりますよ。



『小説 君の名は。』新海誠／著 KADOKAWA／角川文庫 YF シマ

日本映画における世界興行収入第1位を記録し、爆発的に大ヒットした本作。映画を観た人も多いのではないのでしょうか。ノベライズ本は、新海誠監督自らが執筆。美しい映像を文章で表現するとどうなるのか、監督ならではの感覚が光ります。小説では、脇役たちの心情が映画よりも詳しく描かれていたりするので、物語をより深く楽しめます。



〇〇写真館 第1回
今日のごろごろ写真館

いつだって、ネコはごろごろのんきそうだなあ
などと、つぶやいてみたら

のんびりだって?放浪ネコは、大変なのさ
寝てたらごはんもらえない
今日は特別、ごろごろぬくぬくさせてくれよ
って、言われたとかいないとか



★担当より

新型コロナウイルスの感染が広がって、テレビやWEBで見ている世界が日本にもやってきました。楽しみにしていたイベントがなくなって、早く遊びたいなと思う人も、もし病気になったらどうしよう…と不安な日々を送っている人もいるでしょう。人だって、はじめての出来事にあわあわしているのですからね。

でも、家にいるからこそ新しい自分を発見できる。いいこともあるかもしれませんよ? (と、あえてプラスのことを考えてみる。) 地球規模でいえば、人間が動かなくなったら、空気や水がきれいになって、野生動物が街にあらわれたそうです。一つの出来事をきっかけに、新しい何かがおこる。自由に遊べないつまらない日々だからこそ、できることもあるかもしれないね。

さあ、みんな、おおきく深呼吸して! 吸って〜吐いて〜リラックス〜
はやくこれまでの生活に倦れるよう、みんなでがんばろう。

図書館の情報は、ホームページだけじゃなく、Twitter や Facebook でもわかるよ!
いつから学習スペースが使えるようになるのかなど、知りたい人は、ぜひ確認してみよう。



発行 船橋市西図書館(YA担当)

☎ 047 (431) 4385

Twitter



スマホ



ケータイ

